

## INDEX

- 1 概要
- 2 沿革
- 3 役員名簿
- 4 組織図
- 5 学会の事業
- 6 入会案内

# 日本海運経済学会

Japan Society of Logistics and Shipping Economics

## 日本海運経済学会概要

日本海運経済学会 (Japan Society of Logistics and Shipping Economics/JSLSE) は、1966年に設立され、来年50周年を迎える。本学会は、海運を中心として航空分野など広く物流全般の研究を行い、その学問体系の確立と発展に資するとともに関連分野の研究者の育成を目的としている。グローバルな規模のサプライ・チェーン・マネジメントの重要性が高まる中で、本学会の研究が貢献する領域はますます大きくなっている。

現在会員数は、個人会員206名、学生会員5名、特別法人会員13社(2015年10月末)である。

## 学会の沿革

日本海運経済学会は、1966年8月の東京・虎ノ門の日本船舶クラブでの発起人会を経て、同年10月神戸船舶クラブでの創立総会において設立された。その母胎は、1953年に結成された神戸海運研究会と1957年に発足した東京海運研究会の2団体である。これらが結集して日本海運経済学会を設立するに当たり、本学会が、海運・造船・港湾・貿易・保険をも含む総合的視点からの海運経済の研究を、日本交通学会、日本港湾経済学会、日本保険学会との連携のもとで遂行する一方で、海運経済独自の特殊性にも注目した個別研究をも展開するという意図が明らかにされた。創立総会において、初代会長に小島昌太郎京都大学名誉教授、副会長に麻生平八郎明治大学教授、野村寅三郎神戸大学教授、佐波宣平京都大学教授の3氏、常任理事に伊坂市助関東学院大学教授、加地照義神戸商科大学教授、佐々木誠治神戸大学教授(事務局長兼務)の3氏を決定し、第1回の年次大会を1967年10月に東京・日本郵船青山クラブにおいて開催した。

2002年10月の第36回大会の理事会・評議員会、総会の議をふまえて、同年12月に開催された編集委員会、常任理事会、理事会・評議員会での一連の審議を経て、学会英文名を、Japan Society of Shipping Economics から Japan Society of Logistics and Shipping Economics に改称することを決定した。その意図は、学会の活動領域を、従来の海運経済とその関連領域にとどめず、さらにそれを包摂するロジスティクス領域にまで拡大しようということにある。

なお本学会は、日本学術会議の登録認定学術団体であり、また日本経済学会連合にも加盟している。

# 学会の事業

2

日本海運経済学会では下記のような事業を行っています。

- ①全国大会の開催
- ②関東、関西など地域の部会開催
- ③研究成果の刊行 学会誌「海運経済研究」
- ④内外の他学会との交流
- ⑤内外関係諸機関との連携・交流
- ⑥その他本会の目的を達成するために必要な活動

## 《『海運経済研究』第49号(2015年)の紹介》

### 統一論題 「エネルギー輸送の変革」

LNG輸送が日本の海運企業に与えた影響－ 多国籍企業化の促進－

星野 裕志(九州大学)

北極海航路利用LNG輸送の経済性分析

石黒 一彦(神戸大学)

北極海航路利用の現状と展望～トランジット輸送と資源輸送～

柴崎 隆一(国土交通省国土技術政策総合研究所)

### 自由論題

LNG輸送の動向とパナマ運河拡張の影響

森本 清二郎((公財)日本海事センター) 本図 宏子((公財)日本海事センター)

**Liner Shipping Market Contestability in Alliance Era**

平田 燕奈(神戸大学大学院生) 村上 英樹(神戸大学)

海運事業者のコーポレート・ガバナンスと企業パフォーマンス

松本 守(北九州市立大学) 後藤 孝夫(近畿大学)

国内航空貨物輸送量の変動要因分析

花岡 伸也(東京工業大学) 工藤 竜平(北海道)

外国人旅行者誘致の両輪:査証免除と国際航空規制緩和をめぐる政策展開とその効果

遠藤 伸明(東京海洋大学)

航空路の混雑に対する経済学的アプローチの考察 西澤 宏員(神戸大学大学院生)

### 書 評

森 隆行編著『内航海運』 羽原 敬二(関西大学)

林 克彦・根本 敏則 編著『ネット通販時代の宅配便』 二村 真理子(東京女子大学)

会長	星野 裕志 (九州大学)
副会長	遠藤 伸明 (東京海洋大学)
〃	高田 富夫 (流通経済大学)
〃	寺田 一薫 (東京海洋大学)
常任理事	羽原 敬二 (関西大学)
〃	林 克彦 (流通経済大学)
〃	森 隆行 (流通科学大学)
〃	手塚 広一郎 (日本大学)
〃	富田 昌宏 (神戸大学名誉教授)
事務局長	手塚 広一郎 (日本大学)
事務局次長	石黒 一彦 (神戸大学)
〃	高橋 愛典 (近畿大学)
理事	二村 真理子 (東京女子大学)
〃	石黒 一彦 (神戸大学)
〃	松尾 俊彦 (大阪商業大学)
〃	根本 敏則 (一橋大学)
〃	篠原 正人 (東海大学)
〃	正司 健一 (神戸大学)
〃	高橋 愛典 (近畿大学)
〃	寺田 英子 (広島市立大学)
監事	松田 俊男 (マルチプラン㈱)
〃	新納 克広 (奈良県立大学)

評議員	雨宮 洋司 (富山商船高専名誉教授)
〃	中条 潮 (慶應義塾大学)
〃	衛藤 卓也 (福岡大学)
〃	後藤 伸 (神奈川大学)
〃	石田 信博 (同志社大学)
〃	加藤 一誠 (慶應義塾大学)
〃	苦瀬 博仁 (流通経済大学)
〃	松本 勇 (長崎県立大学名誉教授)
〃	味水 佑毅 (高崎経済大学)
〃	水谷 淳 (神戸大学)
〃	中村 徹 (大阪産業大学)
〃	西村 弘 (関西大学)
〃	太田 和博 (専修大学)
〃	塩見 英治 (中央大学)

## 組織

### 常任理事会

学会賞選考委員会

編集委員会

産学官連携委員会

国際交流委員会

研究委員会

事務局

# 入会のご案内

4

## ◇入会をご希望される方

研究者だけでなく広く産業界からもご参加いただけます。

本会に入会をご希望の方は、入会申込書に必要事項を記入し事務局にメール又はファックスでお送りください。

入会申込書は、日本海運経済学会のホームページ(<http://www.jslse.jp/>)からダウンロードできます。

周りに会員になりたい方、会員になっていただきたい方がおられましたらご推薦下さい。また、周りに本学会の活動をご支援くださる法人の方がおられましたらご紹介ください。

## ◇会 員

本学会には下記の会員区分があります。

### 【正会員】

関係分野において学術的研究の実績もしくはその能力のある個人で、会員2名の推薦を要する。  
会費7,000円／年。

### 【特別会員】

この学会の目的に賛成し、その事業に参加または援助する個人および法人とする。個人会費7,000円／年、法人会費10,000円／一口とし、いずれも一口以上。

### 【学生会員】

大学院修士課程在学中の院生および大学院研究生は、正会員である指導教員もしくはそれに準ずる教員あるいは理事の内、いずれか1名の推薦を得て、学生会員となることができる。

学生会員は、大会・部会の行事に参加し、また部会において報告することができる。

会費2,000円／年。

## ◇主な会員サービス

- ・全国大会(年1回)への参加
- ・研究会・部会への参加
- ・年報「海運経済研究」の配布
- ・ニュースレターの配布
- ・その他諸事業への参加